

町内探検隊



今月の舞台 榎前町

今回は安城市の西側にある、榎前町を探検します。

町内の中心を流れる長田川を一本西に入ると、きれいなせせらぎが流れています。水の音が心地よく、とても癒されます。せせらぎ沿いに歩いていくと、ひときわ目を引くものが。なんと小さな水車と水汲み用の手押しポンプがあり



せせらぎの中にある水汲みポンプ

ました。探検隊が訪れた時は、あじさいも満開で、ふと見ると「せせらぎ愛護会」の文字が。そこで榎前町内会長の加藤さんにお話を聞きました。「水車とポンプは平成15年に作りました。町内で愛護会を作って、月2回清掃をしているんです。榎前町では春にはレンゲ祭、夏にはひまわり祭を催して、多くの人でにぎわいます。また榎前環境保全会を作って、田んぼに住む魚を調べ、保護もしています。」見せてもらったアルバムには、子どもからお年寄りまで、町内の人たちの笑顔がたくさん。さらに、榎前町で伝承している三河万歳のショーウインドウまで見せてもらいました。

せせらぎを後にして歩いていくと、大きなシイの木をお寺の中に見つけました。この信照寺の住職



町内会長の加藤さん(左)

である京極さんによると、この木は樹齢400年、胴囲は約5mもあるとのこと。大きさは市内有数で、市指定天然記念物なのだそうです。その大きさに思わず圧倒されてしまいました。

人と自然の共存する榎前町を後にし、探検隊は次の町を目指しました。



信照寺のシイの木

元気っ子アルバム



山口 暖人くん(1歳)

はじめまして、はるとです♡公園大好き動物大好きな僕です。お家ではパパママとかくれんぼするのがマイブームなんだ♪
お父さん：勝利さん
お母さん：博美さん(御幸本町)

三浦 恵美華ちゃん(2歳)



何でも見てやろう聞いてやろう好奇心おう盛なわたしです！

お父さん：浩史さん
お母さん：巴さん (今池町)



坂千明ちゃん(3歳)

わたしは3人兄弟の末っ子。恥ずかしがり屋の内弁慶は過去の話。今は兄ちゃんズに負けず、どこへ行ってもハジケてまーす。
お父さん：和樹さん
お母さん：美佳さん (桜井町)

「わたしの望遠郷」コーナーでは、皆さんからの投稿をお待ちしています。皆さんの出身地を紹介してください。申し込み方法など詳しくは、電話で秘書課広報広聴係(☎71)2202)へ。
※「元気っ子アルバム」の募集はしばらくお休みします。

わたしの望遠郷



島根県大田市



わたしのふるさは島根県大田市です。2007年7月に世界遺産に登録された石見銀山遺跡のあるところです。美しい海と緑いっぱいの山に囲まれています。そこへ、1年に1回、誰も住んでいない家を開けに帰省します。いつも空気がおいしい！人が優しい！「よう帰ってきんさったな！」とみんなが迎えてくれます。



海の魚たちも普段静かに暮らしているので、すれていません。地元の人たちは、その日の夕食分しか捕りません。まき餌をまくとたくさん寄ってきて、小さな子どもたちでもあつという間に50~60尾釣り上げます。

わたしの家の敷地の中にはミカン畑があります。八朔や甘夏など12、3本の木に毎年たくさんの実をつけます。夏休みに帰った時にたくさん取って、親せき・友人にふる里便として送ります。でも去年はさっぱり実が残っていませんでした。間くと猿軍団が山から下りて、土手に並んでミカンを食べていたそう。想像しただけでもフフと笑いがこみ上げる話です。

田舎にはごみ収集は来てくれません。帰った時は自分で処理します。生ごみは裏の竹やぶに捨てます。日が暮れると、タヌキたちのパーティーが始まります。「1年ぶりのごちそ

うだ！」タヌキの声が聞こえてきそうです。おふろの窓をそっと開けると、その姿が見える時もあります。

燃えるごみはすべておふろのたき物になります。薪と一緒にたいたおふろは心と体のしんまで温めてくれます。

福間 玲子さん(住吉町)



福間さん(右)と家族
奥に見えるのが福間さんの実家

スクールナビ

志貴小学校

来年度で創立50周年を迎える志貴小学校は、地域との結びつきが強く、開校時には多くの樹木の寄贈がありました。この樹木が、今では校庭に堂々とそびえ立つほどの大木になっています。昨年度は四季桜の苗木5本とミカンの苗木を70本、新たに植えました。桜が満開となり、ミカンがたわわな実をつけるよう、大切に育てています。

同校の自慢は、開校以来毎年開催している学区連合運動会です。地域連携のこの大運動会では、児童、町内会、老人クラブのそれぞれの競技を組み合わせでプログラムを作ります。運動会で最も大切にしている種目は、校歌の踊り「輝く瞳」です。これは昭和45年に制定された校歌に合わせ、親子で円になって踊る

もの。保護者の中には同校の卒業生もいて、小学生のころ踊った思い出を胸に、子どもと楽しいひとときを過ごします。

近年は新たに自然環境の学習を取り入れています。まずは学区の排水路を竹炭で浄化し、めだかのすみかを作る「めだかの学校」。除草・泥上げから看板設置まで、地域の方の協力によって実現しました。水質を管理して、めだかの住める環境を守っ

ています。また、今年度は「志貴っ子田んぼの学校」も開校しました。栽培法による稲の成長の違いや生態観察を目的とするこの活動。地域の方の田んぼを借りて、早乙女姿のお母さんたちと、1年生・5年生の児童と一緒に田植えをしました。

このように、同校は伝統を守りながら、新しいことにも挑戦し続ける、地域に根ざした学校です。



伝統の種目「輝く瞳」



志貴っ子田んぼの学校